



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

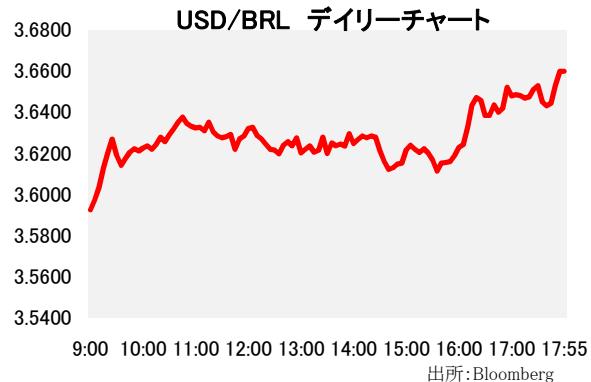
1. マーケット・レート

			3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7540	3.6890	3.6260	3.5850	3.6590	+0.0740
	BRL/JPY	Spot	30.01	30.72	31.20	31.76	31.13	-0.63
	EUR/USD	Spot	1.1006	1.1005	1.1179	1.1153	1.1102	-0.0051
	USD/JPY	Spot	112.63	113.41	113.15	113.79	113.81	+0.02
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.103	14.039	13.973	13.922	13.941	+0.019
	Future	1Year(p.a.)	14.060	13.889	13.815	13.686	13.710	+0.024
On-shore	6MTH(p.a.)	3.412	3.309	3.555	3.315	3.284	-0.030	
	USD	1Year(p.a.)	3.598	3.657	3.824	3.679	3.594	-0.085
株式	Bovespa指数		49,102	48,665	49,571	49,639	48,867	-771
CDS	CDS Brazil 5y		410.99	405.50	394.48	386.50	383.60	-2.90
商品	CRB指数		169.469	172.219	171.887	173.526	172.384	-1.14

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

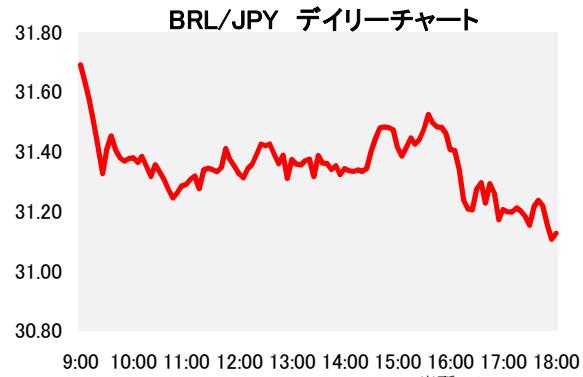
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	\$828m	\$1239m
経済活動(前月比)	0.20%	-0.61%	-0.49%
経済活動(前年比)	-7.10%	-8.12%	-6.16%



3. 要人コメント

ルラ前伯大統領	入閣の是非について近く判断する。
---------	------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる3.5810で寄り付いた。昨日行われた反現行政権のデモには近年で最大級となる数百万人が参加した。デモの規模は予想以上であったが、平和裏に行われ波乱がなかったことから、本日のレアルは利益確定のレアル売りが先行した。朝方から3.63近辺まで下落し暫く揉み合いに転じたが、引けにかけてボベスバ指数が下落すると、レアルも一段と売られて本日の安値となる3.6610を示現した。結局、3.6590でクローズ。
- 早朝に発表された伯中銀公表のアナリスト予想集計では2016年GDP成長率予想が-3.50%から-3.54%に8週連続で下方修正された。2017年予想は+0.5%で3週連続据え置きとなった。インフレ率予想は2016年末が7.59%から7.46%へ下方修正され、2017年末予想は5週連続で6.0%に据え置かれた。政策金利予想は2016年末、2016年末いずれも据え置きで14.25%と12.50%だった。
- イランが経済制裁前の水準に産油量を回復させることを優先する意向を示したため、原油価格は大幅反落した。WTI先物直近限月ものは38ドル台半ばから一時36ドル台後半まで下落した。ボベスバ指数は5営業日振りに反落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。